

令和5年度 住吉区総合防災訓練 実施結果



1 概要

○目的

区災害対策本部の初期初動体制の実効性について検証を行い、行政としての災害対応能力の強化を図るとともに、アフターコロナを見据え、各地域が迅速かつ円滑な避難所の開設・運営が行えるように、地域の総合的な防災力の向上をめざす。また、女性の視点を踏まえた避難所運営についても重点項目として実施する。

○日時

令和5年11月11日(土) 9時～12時

○場所

災害時避難所、町会一時避難場所、住吉区役所 他

○参加者

合計：約4,600人(令和4年度：約4,200人、令和3年度：約2,000人)

<内訳>

地域住民 約4,300人、区役所職員150人、住吉区在住の大阪市職員(直近参集者)60人、
その他関係機関 約130人

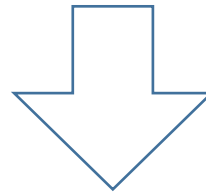
2 令和5年度 住吉区総合防災訓練

地震発生！

⇒9:00 訓練開始！

(町会一時避難場所、災害時避難所に集合)

9:00頃
防災スピーカーから
サイレンが鳴ります！



町会災害対策本部の設置訓練
(町会長、町会役員等)

一般の方も
参加します

1. 一時避難場所に町会本部を設置

集まった参加者へ
訓練の内容と避難場所等について説明

2. 無線通信訓練(地域本部と通信)

3. 安否確認訓練

4. 災害時避難所への避難訓練 **重点**

【その他】

- ・救助資器材の点検、使用訓練
- ・ケガ人や要援護者の搬送訓練(車イス等)
- ・応急手当訓練
- ・初期消火訓練(消火器の確認等) など

3 災害時避難所の開設・運営

重点

地域災害対策本部の設置訓練

地活協役員
及び防災
リーダー等

避難所運営委員会の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練

- 町会本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 安否確認、被害状況の把握
 - ・ 救護要請など
- 避難所とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 建屋被害状況、避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など
- 区本部とのMCA無線通信訓練
 - ・ 地域被害状況、避難者状況の報告
 - ・ 救出救護、物資要請など
- 状況付与への対応訓練

【その他】

- ・ 避難支援・誘導訓練 など

1. 情報収集・伝達訓練(総務・情報班)

- 地域本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など

2. 受付、避難所配置訓練(管理班)

- 受付設置と避難者数の集計
- 部屋のしつらえ、看板等の設置・表示
- 避難者の部屋への誘導(避難所見学対応)
- 簡易トイレの設置
- 避難所レイアウト(養生テープ等で区分け)

3. 熱咳等症状者やけが人の対応(救護班)

- 救護室、福祉避難室の設置
- 療養スペース等の設置
- 福祉避難所への搬送訓練

4. 備蓄物資の確認(食糧・物資班)

- 備蓄物資の点検

女性の視点を
踏まえた
避難所運営

4 区災害対策本部の設置・運営訓練

区災害対策本部の設置・運営訓練

1. 本部設置・情報収集・伝達訓練(庶務班)

- 区災害対策本部の設置(4階大会議室)
- 地域本部とのMCA無線通信訓練
- 防災情報システム通信訓練
- ボランティアセンターとの無線通信訓練
- 広報訓練(X:旧Twitter)

2. 災害時避難所での受入れ(避難受入班)

- 地域と連携した避難所開設訓練

3. 被災者の医療救護、 区医師会等との連絡調整(保健福祉班)

- iisumiによる情報収集
- 福祉避難所とのデジタル無線通信訓練
- EMISへの登録訓練

5 避難所開設訓練状況

● 地域が開設 22箇所

▲ 職員のみで開設 9箇所

— 開設せず(使用不可) 6箇所

災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設	災害時避難所名	開設
墨江小学校	●	大領中学校	—	浪速中学校・高等学校	—
清明学院高等学校	—	帝塚山学院(第2体育館)	—	苅田小学校	●
住吉武道館	●	長居小学校	▲	苅田南小学校	●
清水丘小学校	●	大阪学芸高等学校	▲	阪南高等学校	●
墨江丘中学校	▲	長居幼稚園	●	我孫子中学校	●
英明幼稚園住吉	●	依羅小学校	●	苅田北小学校	●
遠里小野小学校	●	大阪公立大学(第2体育館)	▲	東我孫子中学校	▲
大和川中学校	●	我孫子南中学校	●	教育センター附属高等学校	▲
英明幼稚園遠里小野	▲	南住吉小学校	●	大阪府教育センター	—
東粉浜小学校	●	大空小学校	●	錦秀会住吉区民センター	▲
住吉中学校	●	三稜中学校	●	住吉区老人福祉センター	▲
住吉小学校	●	山之内小学校	●		
大領小学校	●	府立大阪南視覚支援学校	—		

6 iisumiについて

▶各施設（病院、クリニック、薬局、訪問看護ステーション、福祉避難所、災害時避難所）がスマホ等で被害状況等を入力することにより、区災害対策本部で情報の一括収集を迅速に行い、以降の支援計画の検討に活用

【イメージ】



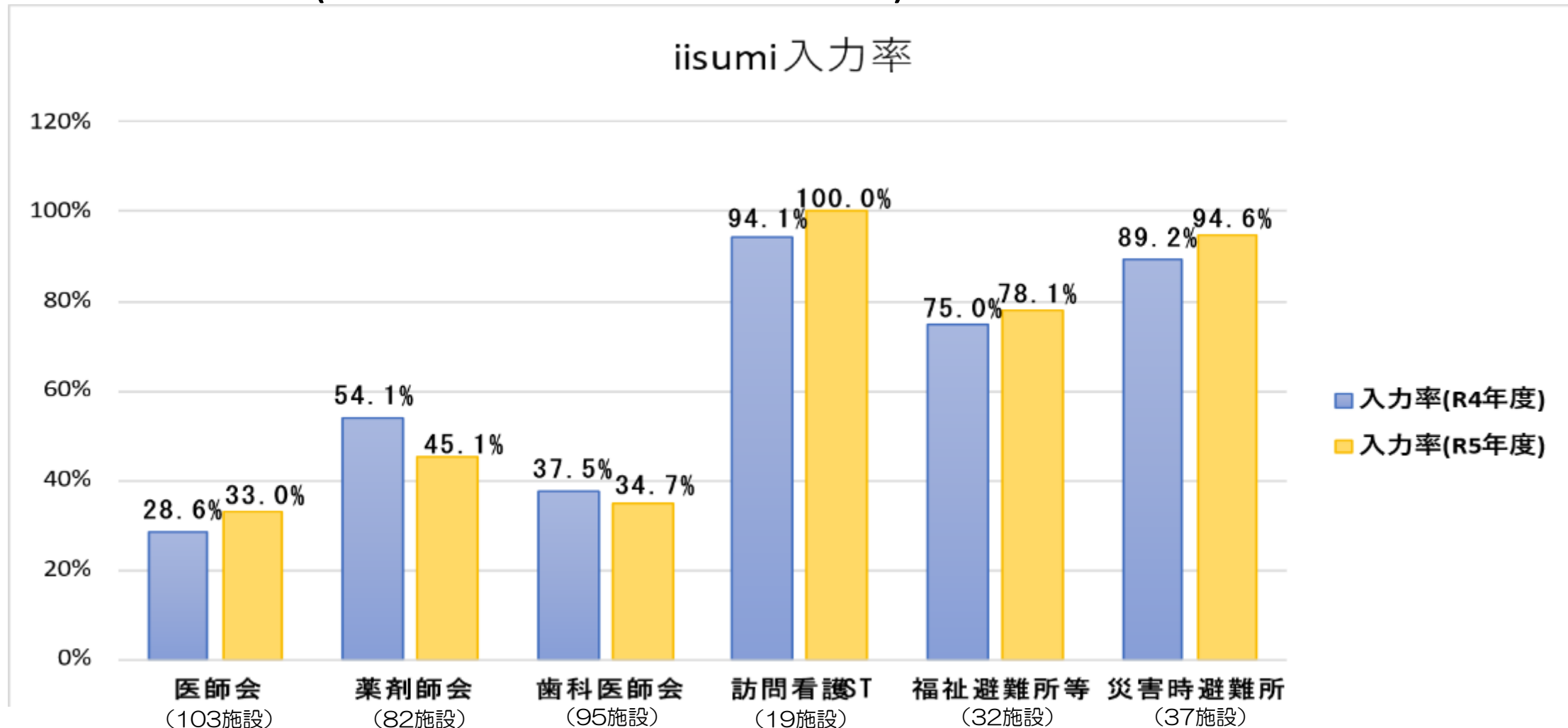
6 iisumiについて

【登録内容等の概要】

団体	iisumi登録施設数 (計368)	登録内容									
医師会	103	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
薬剤師会	82	開局状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
歯科 医師会	95	開院状況 (有無)	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	電話 (可・不可)	医薬品等 (充足・不足)	多数患者 (有無)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
訪問看護 ST	19	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	全利用者数 (実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)	
福祉 避難所	32	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	医療ガス (充足・不足)	医薬品等 (充足・不足)	食料 (充足・不足)	利用者定員 (実数)	受入可能 人数(実数)	職員数 (充足・不足)	物資(実数)
災害時 避難所	37	建物倒壊の 恐れ(有無)	電気(有無)	水(有無)	冷暖房 (可・不可)	食料 (充足・不足)	トイレ (充足・不足)	最大避難 受入可能数	避難者数／ 有症状者／ 要配慮者	職員数 (充足・不足)	

6 iisumiについて

【iisumi入力率(令和5年度総合防災訓練)】



7 訓練協力関係機関

機関名称	連携・協力内容
大阪急性期・総合医療センター	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練
住吉区医師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区薬剤師会	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区歯科医師会	●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区内訪問看護ステーション	●本部運営訓練 ●iisumi通信訓練通信訓練
福祉避難所・緊急入所施設	●無線通信訓練 ●iisumi通信訓練通信訓練
住吉区社会福祉協議会	●無線通信訓練
大阪市環境局	●太陽光発電設備の仕組みと災害時の利用方法の説明
大阪市水道局	●応急給水体験

8 訓練の様子(町会一時避難場所)



受付の設置



応急救助訓練(毛布担架)



安否確認訓練



応急救助訓練(ジャッキ)



応急手当訓練(新聞紙スリッパ)

9 訓練の様子(災害時避難所)



避難所開錠



備蓄倉庫の確認



地域災害対策本部の開設



炊き出し訓練

9 訓練の様子(災害時避難所)



無線通信訓練



一般避難者スペースの設え



簡易テントの組立(療養者スペース)



女性の視点を踏まえた避難所運営
(物資保管場所やプライバシー確保)



簡易トイレの組立



発電機の確認

9 訓練の様子(災害時避難所)



太陽光発電を利用した電力供給



給水車からの給水訓練



10 訓練の様子(区災害対策本部)



広報担当(X:旧Twitter等)



無線担当

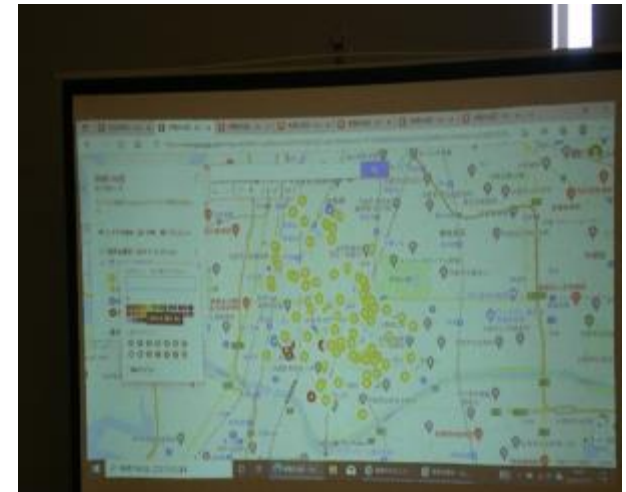


防災情報システム(市との情報共有)



iisumi担当(保健福祉班)

(医師会、薬剤師会、歯科医師会、訪問看護ステーション、福祉避難所、災害時避難所から集約した情報をマッピングし可視化)



10 訓練の様子(区災害対策本部)



保健福祉班

(収集した情報をもとに救護所設置箇所等の検討及び記録の実施)

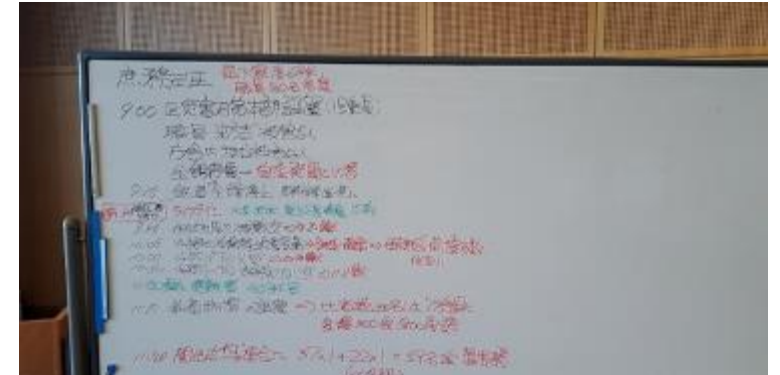


救助訓練



庶務班

(収集した情報をもとに被害状況等の集約及び記録の実施)



アンケート結果

回答者数: 583名 (災害時避難所で配布)

【世代別】

【性別】

男 性: 263名

女 性: 304名

未回答: 16名

世代	人数(名)	世代	人数(名)
10歳代未満	4	60歳代	111
10歳代	5	70歳代	217
20歳代	2	80歳代	92
30歳代	12	90歳代	4
40歳代	35	未回答	23
50歳代	78		
合計			583

Q1 . 訓練当日9時の防災行政無線からの放送とサイレンは聞こえましたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	聞こえた	45. 4%
2	聞こえたが放送内容は分からなかった	39. 3%
3	聞こえなかった	15. 3%

Q2 . 訓練に参加したきっかけを教えてください。

	選 択 肢	回 答 率
1	町会役員だから	65. 9%
2	役員の声かけ	10. 5%
3	ポスター、チラシを見て	11. 2%
4	ご近所の声かけ	4. 5%
5	その他	7. 8%

Q3 .あなたは、一時避難場所がどこかご存知でしたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	以前から知っている	92. 2%
2	今回の訓練で初めて知った	7. 4%
3	知らない	0. 3%

Q4 .あなたは一時避難場所と災害時避難所の違いをご存知でしたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	以前から知っている	80. 1%
2	今回の訓練で初めて知った	16. 5%
3	知らない	3. 3%

Q5 .今回の訓練内容や自助・共助の重要性について理解できましたか。

	選 択 肢	回 答 率
1	理解できた	62. 1%
2	概ね理解できた	34. 5%
3	あまり理解できなかった	3. 0%
4	全く理解できなかった	0. 4%

Q6 .災害時に備えて家庭内で備蓄ができていますか。

	選 択 肢	回 答 率
1	できている(7日分)	13. 2%
2	概ねできている(3日分)	34. 7%
3	あまりできていない(3日分未満)	46. 5%
4	全くできていない	5. 6%

Q7 .女性の視点を踏まえた避難所運営を行うために必要なこと(もの)は何だと思いますか。

【スペース】

- ▶ トイレの充実
- ▶ プライバシーの確保
- ▶ 更衣室、授乳室の確保
- ▶ 男女の生活スペースを離す
- ▶ 託児所や子どもの遊びスペースを確保する

【物資】

- ▶ 乳幼児用品(粉ミルク、おむつ、離乳食、哺乳瓶)の充実
- ▶ 女性用品(生理用品等)の充実
- ▶ 電灯の確保
- ▶ パーテーション

【体制】

- ▶ 避難所の運営に女性が参加すること。
- ▶ 性別で役割を決めない。(炊出し、掃除は女性など)
- ▶ 夜間の見回りや警備の実施

物資の配備状況

【危機管理室】…防災拠点に備蓄(令和5年4月1日時点)

- ▶ 小児用おむつ(S、M、L) 計97,035枚(+協定により79,469枚配送予定)
- ▶ 大人用おむつ(S、M、L) 計29,503枚(+協定により13,598枚配送予定)
- ▶ 高齢者食(粥) 93,200食(+協定により2,200食配送予定)
- ▶ 液体ミルク 12,102ℓ(乳児の調乳量1人あたり1日1ℓ)
- ▶ アレルギー対応粉ミルク 115,800g(乳児の調乳量1人あたり1日130g)
- ▶ 哺乳瓶 5,934本
- ▶ 使い捨て哺乳瓶 11,394本
- ▶ 生理用品 7,357,224枚(+協定により77,482枚配送予定)

【住吉区役所】…各災害時避難所に配備

- ▶ 簡易テント(パーテーション) 15台
- ▶ 投光器 3台
- ▶ LEDランタン 10台
- ▶ カセットボンベ式発電機 2台(小学校のみ3台)

Q8. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

【良かった点】

- ▶ 男女の更衣場所の設営があり、様々な配慮がされていると感じた。
- ▶ 多少の混乱はあったものの、次回に繋がるいい反省材料となった。
- ▶ スムーズに避難誘導ができていた。訓練の成果がでている。
- ▶ ジャッキや布担架の使用方法を学べてよかった。
- ▶ 備蓄倉庫の確認ができて良かった。
- ▶ 災害はいつ起こるか分からないので、日々の暮らしから必要なものを確認して準備しておべきだと思った。
- ▶ 防災リーダーの参加が多く、安心感がある。
- ▶ 町会での協力体制を確認することができた。繰り返し行うことが重要。
- ▶ 毎年訓練に参加していても、分からないことがある。訓練を通じてそれを少しずつ解消でき、非常にいい機会だと思う。

Q8. 今回の訓練で良かった点や改善すべき点

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
1	防災スピーカーからの音声聞き取りにくかった。	・ 遮音性の高い住居や高層建築物の増加、騒音の影響などといった都市部を取り巻く環境によって、音が伝わりにくい状況になっています。 ・ 地震、津波、弾道ミサイル等による武力攻撃といった緊急事態の種類によってサイレン音のパターンを区別するなど取り組むとともに、音声聞き取れなかった場合には防災行政無線テレホンサービス(06-6210-3899)で放送した音声を聞くことができます。(通話料がかかります。)また、大阪防災アプリでも放送内容が確認できます。 ・ 災害発生時には防災スピーカーだけでなく、大阪防災アプリやおおさか防災ネットなど、多様な情報伝達手段を用いて災害情報を伝達することとしており、皆様に様々な方法で必要な情報が確実に伝わるよう、引き続き、情報伝達手段の多様化に努めてまいります。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
2	ペットの保管場所について検討が必要。	・ ほとんどの避難所では、屋外の屋根のあるスペースにペット保管場所を設けています。なお、衛生上の理由から、居住スペースとは分離しています。 ・ 災害時協力事業所としてペットサロン(ペットの衛生管理)に登録いただいております。 ・ 「避難所開設マニュアル」を精査し、地域や学校と連携しながら見直していきます。
3	訓練の周知をもっと徹底する必要がある。 参加するのは毎年同じ人で、若い人の参加があまりに少ない。	・ 区のホームページや広報紙、広報掲示板、X(旧Twitter)等で周知を行うとともに、今年度からは事前に青色防犯パトロールカーでの広報を行いました。地域においては町会掲示板や町会回覧板等で周知をしていただきました。 ・ 今後も、より多くの住民に参加していただけるよう、周知方法等を検討します。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
4	備蓄倉庫の整理を行い、何がどこに入っているか分かるようにすべきだと思う。	・ 例年の追加物資の配備により、避難所によっては備蓄場所が足りなくなっている状況です。 ・ 地域や施設管理者と引き続き調整の上、備蓄場所の確保に努めます。 ・ 備蓄倉庫内のどこに何が入っているかを表示するなど、備蓄倉庫の整理を行います。
5	備蓄物資について、さまざまな物資が必要になると思うので引き続き配備を続けてほしい。また、家庭での備蓄についても周知してほしい。	・ 地域や防災専門会議等の意見をいただきながら、引き続き必要物資の検討や予算措置を行います。 ・ 家庭での備蓄については、区のホームページや広報紙での周知のほか、年1回防災情報紙の全戸配布を行っております。今後も周知方法等を検討しながら、取り組んでいきます。

【課題、改善すべき点及び対応方針】

	主な意見・課題等	対応方針
6	障がい者や高齢者を重視した訓練も必要ではないか。	・ ご意見のとおり、災害時に一人でも多くの命を助けるため、障がいをお持ちの方や高齢者等、お一人で避難することが難しい方の安否確認および避難支援が重要であると考えています。 ・ 車いすを使用した搬送訓練や、災害時要援護者支援台帳等をもとに地域の要援護者をマッピングした地図を作成し、安否確認訓練を行っていただいている地域もあります。 ・ 次年度は、多様なニーズを反映した避難所運営訓練として、地域や防災専門会議等の意見を踏まえながら実施していきます。
7	福祉避難所との無線訓練がうまくいかなかった。	・ 訓練時にご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。確認したところ、区役所側の無線設備に不具合（エラー表示）があり、通信ができない状態となっていました。 ・ 業者と原因を調査した結果、ケーブル等に不具合があったことから、交換を実施し、現在は復旧しております。